

認定心理士認定委員会より

1. はじめに

新しい年を迎えて最初の1ヶ月が過ぎんとしているところかと思いますが、本年もどうぞよろしくをお願いします。

2. 認定委員会について

さて前号では、第3回、通算126回認定委員会までの審査状況を報告しました。それ以降、本稿執筆時点の10月末までに2回の委員会が開催されました。第4回（通算127回）は2011年8月6日、第5回（通算128回）は10月22日のいずれも土曜日に開催されました。この2回の委員会では、2011年の6月1日から9月30日までに受け付けた申請のうち774件を審査し、その結果648件を合格とし、98件を保留、28件を不合格としました。本年度のこれまでの審査状況をまとめると、これまでに2496件を審査し、2106件を合格としたこととなります。

3. 認定委員会委員の交代について

前号でもお知らせいたしました、2011年10月末に認定委員の一部交代がありました。2007年11月より認定委員をしていた

いていた32名の方が任期満了となり退任となりました。これまでのご尽力に感謝申し上げます。

なお、32名の方の退任に伴い、新たに22名の方に委員の就任をお願いしました。委員の選出に關しましては、ご退任の委員の方および常務理事の方々に新任の候補をご推薦いただき、常務理事会に諮るという形をとりました。新任の皆様には、これから4年間、ボランティアベースの大変なお仕事を願うすることになりますが、何卒よろしく願います。

4. 研修会について

本年度の研修会については、この原稿執筆の段階で4回分が終了しています。前号では第1回研修会についてご報告申し上げましたので、ここでは第2回から第4回の参加状況についてご報告いたします。第2回は8月20日に北翔大学北方圏学術情報センターで開催され、191名の参加がありました。さらに第3回は9月17日に日本大学文理学部、第4回は9月19日に名古屋大学で開催され、それぞれに750名、30名の参加がありました。開催形態の関係で参加人数にばらつきはありますが、全般的には予想以上に多くの方にご参加いただけた

のではないかと考えています。

なお、この原稿が公刊される1月末までには、さらに2回の研修会、すなわち本年度に計画した全ての研修会が終了している予定です。

ところで、前号にて「研修会の充実も一つの重要な課題です。この点に關しましては、新しい常務理事会が取り組むべき課題の一つとしても認識され、その方策を検討しているところです」と述べましたが、常務理事会でこの課題について検討した結果、次年度の研修会の企画は、認定委員会ではなく、教育研究委員会が担当することになりました。実は、皆さんも御存知のように、学会が主催する催し物には、認定心理士のための研修会ばかりではなく公開シンポジウムなどもあります。常務理事会では、そのような企画を一元化することにより、異なる企画の違いを明確化し、よりメリハリのある質の高いプログラムが提供できるのではないかと考えました。ということで、今後の研修会の企画を皆様もどうぞ楽しみにしてください。

（日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 山田寛）

編集後記

自他ともに認める食いしん坊で、食をテーマにした今回の特集はまさに趣味と実益を兼ねて企画しました。楽しんでいただけましたら幸いです。今号の特集担当を最後に本誌編集委員の任期を終えることとなりました。編集会議でさまざまな専門分野の先生方と一緒に企画を練ったり、ご執筆された先生方の原稿を読ませていただいたりするなかで、心理学の幅広さと面白さをあらためて感じた4年間でした。ありがとうございました。（柴崎光世）

編集委員（五十音順）

編集委員長
副委員長
委員

岡 隆	日本大学
宮本 聡介	明治学院大学
大神 優子	和洋女子大学
小田 浩一	東京女子大学
近藤 清美	北海道医療大学
久保南海子	愛知淑徳大学
三宮真智子	大阪大学
杉浦 義典	広島大学
杉若 弘子	同志社大学
時津 裕子	徳山大学
林 創	岡山大学
森岡 正芳	神戸大学
阿部 純一	北海道大学

担当常務理事

心理学ワールド [56号] 2012年1月15日発行

年4回発行（1月、4月、7月、10月）

発行人—佐藤隆夫

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—銀河

制作—(株)新曜社